

参考文献リスト(3-3 気候変動による三方五湖の淡水生態系等に与える影響調査)

No.	著者(公表年)、文献名、学術誌名、巻(号)、ページ	概要	URL
1	環境省自然環境局生物多様性センター：自然環境保全基礎調査	環境省により取りまとめられた、全国の自然環境の調査結果を公開している。本調査では、三方五湖の自然環境の概要の収集に用いた。	https://www.biodic.go.jp/kiso/fnd_f.html
2	渡智美, 2005: 三方五湖の魚類, ナチュラリスト, Vol.16, No.2.	福井県海浜自然センターの調査により、三方五湖に生息する魚類がまとめられている。	http://www.erc.pref.fukui.jp/gbank/wetland/naturalist046/naturalist03.pdf
3	平山亜希子, 2005: 三方五湖の水草, ナチュラリスト, Vol.16, No.2.	福井県海浜自然センターの調査により、三方五湖の水生植物相の概要がまとめられている。特に2003年、2005年の調査結果を中心に示されている。	http://www.erc.pref.fukui.jp/gbank/wetland/naturalist046/naturalist05.pdf
4	森明寛, 2011: 湖山池に生育するヒシの発芽特性と生育環境, 鳥取県衛生環境研究所報第51号.	鳥取県湖山池では、2004年頃から急激にヒシの繁茂が顕著となり、数年で約60haが覆われるようになった。このため、湖山池におけるヒシの生育環境について、塩化イオン濃度等との関係を用いて調査した。	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/642672/annual_report_vol51_2_3.pdf
5	Pracoyo, Atas Pracoyo, 梅田信, 田中仁, 佐々木幹夫, 長崎勝康, 2011: 十三湖におけるヤマトシジミ産卵期の塩分・水温と稚貝生息数に関する検討, 土木学会論文集B2(海岸工学), Vol. 67, No. 2.	青森県十三湖における塩分・水温と稚貝生息数の関係について、稚貝生息数指標、年産卵可能日数比を用いて、検討した。この結果、稚貝個体数は、前年の夏季の産卵時期の水温及び塩分が関係していることが示された。	https://www.jstage.jst.go.jp/article/kaigan/67/2/67_2_1001/_pdf/-char/ja
6	石飛裕他, 2016: 宍道湖におけるヤマトシジミの幼生加入と成長速度に及ぼす塩分の影響, 水産増殖, Vol.64, No.3.	3年間にわたり月別に採取した検体を用いて、鳥根県宍道湖におけるヤマトシジミの着底時や成長速度への塩分濃度の影響を調査した。	https://www.jstage.jst.go.jp/article/aquaculturesci/64/3/64_309/_pdf/-char/ja
7	中村幹雄他, 1997: ヤマトシジミの貧酸素耐性, 水産増殖, Vol.45, No.1.	貧酸素水塊による被害が懸念されている鳥根県宍道湖産のヤマトシジミについて、室内実験により貧酸素耐性を調査した。	https://www.jstage.jst.go.jp/article/aquaculturesci1953/45/1/45_1_9/_pdf/-char/ja
8	山室真澄, 2014: 日本の汽水湖沼で異常増殖が懸念される淡水産沈水植物・浮葉植物の繁茂が確認された塩分範囲, 陸水学会誌, Vol.75.	近年の国内での水草の繁茂の傾向を受け、汽水湖での繁茂の可能性のある水生植物を整理した。特に、日本各地の汽水湖沼における水生植物の種類と塩分濃度の関係性を調査した。	https://www.jstage.jst.go.jp/article/rikusui/75/2/75_113/_article/-char/ja/
9	三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会, 2016: 三方五湖自然再生事業 三方湖ヒシ対策ガイドライン	三方五湖の一つである、三方湖においては、近年ヒシの繁茂が課題となっている。近年のヒシの繁茂状況及び取り巻く環境を調査すると共に、対策について整理した。	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shizen/mikata-goko/kyogikai.html
10	中村幹雄, 2000: 日本のシジミ漁業 その現状と問題点, たたら書房	日本各地のシジミ漁業関係者による情報を元に、現状と問題点をまとめている。この中では、ヤマトシジミの生態や、シジミ漁の特性についても整理されている。	-
11	角野康郎, 2014: 日本の水草, 文一総合出版	国内の淡水及び汽水域で見られる植物について、まとめられている。本調査では、ヒシの一般的生態等の知見の収集に用いた。	-
12	角野康郎, 1994: 日本水草図鑑, 文一総合出版	国内の淡水及び汽水域で見られる植物について、約200種がまとめられている。本調査では、ヒシの一般的生態等の知見の収集に用いた。	-

13	(財)リバーフロント整備センター編, 1996: 川の生物図典, 山海堂	川に生息する生物について、植物、陸生昆虫、水生昆虫、魚類、鳥類、その他を広くまとめている。本調査ではヒシ、ヤマトシジミについての一般的生態等の知見収集に用いた。	-
14	Nishihiro, J., Y. Kato, T. Yoshida, I. Washitani, 2014: Heterogeneous distribution of a floating-leaved plant, <i>Trapa japonica</i> , in Lake Mikata, Japan, is determined by limitations on seed dispersal and harmful salinity levels, <i>Ecological Research</i> , Vo. 29, No.5.	三方湖におけるヒシの発芽期の種子分布及び塩分濃度等の関係について、現地調査、リモートセンシング、屋内調査等を行い、検討した。この結果、河川流入の影響による種子分布と塩分がヒシの分布に影響を及ぼすことが示された。	https://link.springer.com/article/10.1007/s11284-014-1186-6
15	古藤田一雄, 1977: 気候学的資料を用いた湖面蒸発量の推定法, 筑波大学水理実験センター報告, No.1.	河川流域の水収支検討の精緻化を目的として、気温、風速の観測値を用いて、湖面蒸発量を推定する手法について検討した。	http://www.ied.tsukuba.ac.jp/yosoku/terc/ercbull01/
16	石黒宗秀, 大西亮一, 1986: 水資源開発計画のための三方湖群の水収支解析, 農業土木学会論文集, 第125号.	三方五湖における水資源量把握を目的として、河川流入量と外水位の関係性に着目した三方湖群の2段貯水池モデルを構築し、観測値との比較から有効性を検討した。	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsidre1965/1986/125/1986_125_19/_article/-char/ja
17	環境省, 2017: 水生生物による水質評価法マニュアル-日本版平均スコア法-	イギリスの生物環境のスコアリング手法を元に、日本の生物相の特徴を踏まえた水質評価法について示した日本版平均スコア法について、特徴や手順等が解説されている。	https://www.env.go.jp/water/mizukankyo/hyokahomanual.pdf
18	宮本康, 2019: 三方五湖のシジミ 福井県里山里海湖研究所	三方五湖に生息するシジミの生態や分布をまとめると共に、同地域でのシジミに影響を与えた過去からの歴史をまとめている。本調査では、同地域のシジミに関わる環境及び同地域での変遷に関する情報収集に用いた。	